

# 先制医療の一例：実年齢56歳だが、免疫検査で免疫力が67歳と出た健康人にNK細胞療法を1回おこなうと1週間後に免疫力は18歳になった。

## 免疫検査 報告書

依頼医師名: 照沼裕先生

検査ID: LS09 検査者名: 様 施設名: 東京クリニック

検体採取日: 2015/10/1 (木) 検査受付日: 2015/10/1 (木) 検査報告日: 2016/2/12 (金)

項目名	測定値				数値
	■	●	▲	▲	
■白血球数	3000	●	9000		5,500 /μL
■顆粒球数	1500	●	7500		3,700 /μL
白血球中での顆粒球数 : 百分率	40%	●	70%		67.9 %
■単球数	200	●	500		300 /μL
白血球中での単球数 : 百分率	3%	●	10%		5.7 %
■リンパ球数	1540	●			1,500 /μL
白血球中でのリンパ球数 : 百分率	27%	●			26.4 %
□ Tリンパ球数	800	●			1,052 /μL
リンパ球中でのCD3+細胞数 : 百分率	55%	●			70.2 %
□ CD4+αβ T細胞		●			584 /μL
リンパ球中でのCD3+CD4+細胞数 : 百分率	25%	●			38.9 %
□ CD8+αβ T細胞		●			416 /μL
リンパ球中でのCD3+CD8+細胞数 : 百分率	15%	●			27.7 %
□ γδ T細胞		●			78 /μL
リンパ球中でのCD3+γδ T細胞数 : 百分率	3%	●			5.23 %
□ 制御性 T細胞 (免疫抑制作用)		●			57 /μL
CD3+CD4+細胞中でのCD25+CD127-low細胞数 : 百分率		●			9.7 %
▽ CD4/CD8 比					1.4
□ B細胞数	50	●			219 /μL
リンパ球中でのCD19+細胞数 : 百分率	5%	●			14.6 %
□ NK細胞数	200	●			165 /μL
リンパ球中でのCD3+CD56+細胞数 : 百分率	10%	●			11.0 %
■ NK細胞細胞傷害活性 (NK活性)		●			16 %

備考: ご報告NK活性 ET比 (PBMC:K562 = 12.1)

コメント

細菌を殺す好中球がほとんどを占める顆粒球数は 基準内 です。  
 ・多すぎると免疫の働きを抑えてしまう単球数は 基準内 です。  
 ・がん細胞やウイルス感染細胞の傷害に中心的役割を果たす細胞であるリンパ球数は 基準内、  
 Tリンパ球は 基準内、  
 NK細胞数は 低値 です。  
 ・リンパ球の細胞傷害性を抑制する制御性Tリンパ球の割合は 基準内 です。  
 ・血液中のリンパ球のがん細胞を傷害する活性 (NK活性) は 低値 です。  
 ・あなたの免疫年齢は **67才** です。  
 ・からの免疫状態を改善して良く保つために、体を冷やさず、食事や飲み物は温かいものをとり、規則正しい睡眠、口腔ケアなどを心がけてください。  
 ※制御性T細胞については高値は癌の低リスクに、低値は癌の高リスクに警告されます。

免疫細胞 レーダーチャート

## 免疫検査 報告書

依頼医師名: 照沼裕先生

検査ID: LS31 検査者名: 様 施設名: 東京クリニック

検体採取日: 2015/10/8 (木) 検査受付日: 2015/10/8 (木) 検査報告日: 2016/2/12 (金)

項目名	測定値				数値
	■	●	▲	▲	
■白血球数	3000	●	9000		5,100 /μL
■顆粒球数	1500	●	7500		3,200 /μL
白血球中での顆粒球数 : 百分率	40%	●	70%		62.4 %
■単球数	200	●	500		300 /μL
白血球中での単球数 : 百分率	3%	●	10%		6.3 %
■リンパ球数	1540	●			1,600 /μL
白血球中でのリンパ球数 : 百分率	25%	●			31.3 %
□ Tリンパ球数	800	●			1,110 /μL
リンパ球中でのCD3+細胞数 : 百分率	55%	●			69.4 %
□ CD4+αβ T細胞		●			552 /μL
リンパ球中でのCD3+CD4+細胞数 : 百分率	25%	●			34.5 %
□ CD8+αβ T細胞		●			485 /μL
リンパ球中でのCD3+CD8+細胞数 : 百分率	15%	●			30.3 %
□ γδ T細胞		●			98 /μL
リンパ球中でのCD3+γδ T細胞数 : 百分率	3%	●			6.11 %
□ 制御性 T細胞 (免疫抑制作用)		●			43 /μL
CD3+CD4+細胞中でのCD25+CD127-low細胞数 : 百分率		●			7.8 %
▽ CD4/CD8 比					1.1
□ B細胞数	50	●			197 /μL
リンパ球中でのCD19+細胞数 : 百分率	5%	●			12.3 %
□ NK細胞数	200	●			211 /μL
リンパ球中でのCD3+CD56+細胞数 : 百分率	10%	●			13.2 %
■ NK細胞細胞傷害活性 (NK活性)		●			36 %

備考: ご報告NK活性 ET比 (PBMC:K562 = 12.1)

コメント

細菌を殺す好中球がほとんどを占める顆粒球数は 基準内 です。  
 ・多すぎると免疫の働きを抑えてしまう単球数は 基準内 です。  
 ・がん細胞やウイルス感染細胞の傷害に中心的役割を果たす細胞であるリンパ球数は 基準内、  
 Tリンパ球は 基準内、  
 NK細胞数は 基準内 です。  
 ・リンパ球の細胞傷害性を抑制する制御性Tリンパ球の割合は 基準内 です。  
 ・血液中のリンパ球のがん細胞を傷害する活性 (NK活性) は 基準内 です。  
 ・あなたの免疫年齢は **18才** です。  
 ・からの免疫状態を改善して良く保つために、体を冷やさず、食事や飲み物は温かいものをとり、規則正しい睡眠、口腔ケアなどを心がけてください。  
 ※制御性T細胞については高値は癌の低リスクに、低値は癌の高リスクに警告されます。

免疫細胞 レーダーチャート

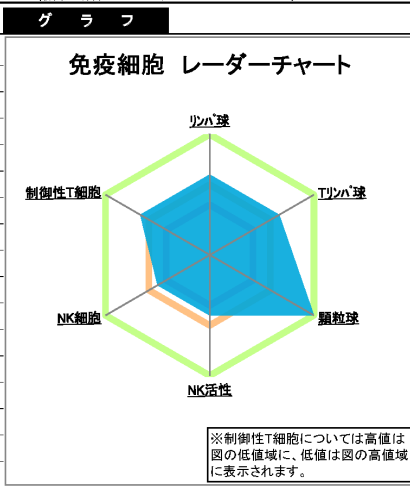
# 先制医療の一例：実年齢56歳だが、免疫検査で免疫力が67歳と出た健康人にNK細胞療法を1回おこなうと1週間後に免疫力は18歳になった。

リンパ球中のCD19+細胞数 百分率	5%	●	14.6%
□NK細胞数	200	●	165 / $\mu$ L
リンパ球中のCD3-CD56+細胞数 百分率	10%	●	11.0%
■NK細胞細胞傷害活性 (NK活性)	20%	●	16%

備考： ご報告NK活性 ET比 (PBMC:K562= 12:1)

**コメント**

- 細菌を殺す好中球がほとんどを占める顆粒球数は 基準内 です。
- 多すぎると免疫の働きを抑えてしまう単球数は 基準内 です。
- がん細胞やウイルス感染細胞の傷害に中心的役割を果たす細胞であるリンパ球数は 基準内 、
- Tリンパ球は 基準内 、
- NK細胞数は 低値 です。
- リンパ球の細胞傷害性を抑制する 制御性Tリンパ球の割合は 基準内 です。
- 血液中のリンパ球のがん細胞を傷害する活性 (NK活性) は 低値 です。
- あなたの免疫年齢は **67才** です。
- からだの免疫状態を改善して良く保つために、体を冷やさず、食事や飲み物は温かいものをとり、規則正しい睡眠、口腔ケアなどを心がけてください。



リンパ球中のCD19+細胞数 百分率	5%	●	12.5%
□NK細胞数	200	●	211 / $\mu$ L
リンパ球中のCD3-CD56+細胞数 百分率	10%	●	13.2%
■NK細胞細胞傷害活性 (NK活性)	20%	●	36%

備考： ご報告NK活性 ET比 (PBMC:K562= 12:1)

